

# 来年度、1～2小学校に専科教員配置

八幡市議会  
一般質問

## 配置校、教科などは今後具体化

## 日本共産党・山本市議が追及、一步前進

八幡市教育委員会は、八幡市議会本会議で、来年度、小学校1～2校程度で専科教員を配置したいと答弁しました。6日、山本邦夫市議の一般質問への答弁。

### 全国の自治体ではすでに実施

文部科学省が小学校での英語の専科教員を配置するのに続いて、来年度政府予算の概算要求で、専科教育の充実を掲げたことも踏まえ、市教委として少人数教育での複数の教員で授業をするチームティーチングを発展的に見直すとして専科教育を実施する考えです。今後、来年度の予算編成の中で、対象となる学校、専科の対象科目、学年などを検討することになります。

全国では自治体の判断で、図工、音楽、家庭科、理科などで専科の先生が配置されていますが、京都府、八幡市では、「一人の先生が全教科を教えるのが望ましい」として専科

教員配置を拒否していました。従来のごうした見解を転換する答弁で、教員の長時間労働の是正、子どもにとってよりよい教育環境につながります。

### 1日5、6コマの授業が当たり前?

一般質問で、市内の小学校の3～6年生では、水曜日以外のほとんどの曜日で1日6時間の授業があり、児童の下校後、教員の勤務時間内に翌日以降の授業の準備、宿題の作成・丸つけをはじめ、その他の校務をこなすのは困難であることを指摘しました。答弁では、小学校の場合、1・2年生の担任はおおよそ1日5コマ、3～6年生の担任は6コマの授業を担当していると答えました。

文部科学省がかつて指導していたように、教員の授業時間を1日4コマにするなど上限を明確にして、教員の大幅増員、専科教員を配置するよう迫りました。

# 水道料金 値上げするな

亀田市議

## 府営水値上げで1.1億円の負担増に

八幡市議会の6日の一般質問で亀田優子市議は、昨年水道料金値上げに続き、京都府営水道が30%の値上げを計画している問題を追及しました。

これに対し市は、府営水道の計画を実施すれば「年間1億1000万円の負担になる。急激な値上げを避けるため、経過措置を要望している」と答弁しました。経過措置を取った

としても大幅な値上げが待ち構えていることに変わりなく、府営水道料金を押し上げているダムなどの建設経費の見直しが不可欠です。

また亀田市議が、昨年度、市の水道料金を17%値上げした際、低所得者への上下水道基本料金を2段階で廃止した制度を復活するよう求めたのにたいし、市は「復活を考えていない」と冷たい答弁をしました。